

## 令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	垣内・氏家・小林真		
教科の名称	工業(アートクラフト)		
科目の名称	人間と社会		
使用教科書	人間と社会		
指導学年・学科	2学年 アートクラフト科		
単位数	1単位		
科目の目標	①「人間と社会」が設定された意義について理解を深める。 ②すでに実施されているボランティア活動について理解を深める。 ③体験的な活動を通じて、共に生きる姿勢や意義を学ぶ。		
評価の観点	①社会に役立つ喜びと意義を理解する。 ②社会に役立つ知識と能力を高める。 ③社会の様々な課題について理解する。 ④社会のいろいろな人と共に生きる姿勢を身につける。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	体験事前学習	・オリエンテーション ・本業を通じた社会貢献とは	2
5月		・「学ぶことの意義」「働くことの意義」についてのグループ討論 ・「マナーと社会のルールについて考える」「文化の多様性」についてのグループ討論 ・各プログラムの内容紹介	2
6月		・福祉体験 ・各プログラムの内容紹介 ・体験学習の計画書づくり ・体験先の理解	3
7月		・活動内容の最終確認	1
8月	体験学習	各連携先で、体験実習を行う	24
9月	学習の振り返り 発表会の準備	・発表会のためのプレゼンテーション準備	3
10月		・発表会のためのプレゼンテーション準備 ・リハーサル	2
11月		・1年生へ向けたプレゼンテーション	2
12月			
1月			
2月			
3月			
		合計	39

# 令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	仲三河・石井・松山		
教科の名称	人間と社会		
科目の名称	人間と社会		
使用教科書	東京書籍 人間と社会		
指導学年・学科	2学年・マシクラフト科		
単位数	1単位		
科目の目標	価値を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して道徳性を養い、判断基準(価値観)を高めることで、社会的現実(らし)に照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。		
評価の観点	各テーマの内容において、自分自身の意見や他人の意見等を尊重すると共に、協調性や自主性等があるか。また、体験活動にも積極的に活動・取組み、発表会の仕方や出欠状況等により総合的に判断する。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	ガイダンス		2
5月	学ぶことの意義	教科書を使用し、各単元は「導入」「単元の基本的な内容に関する学習」「形成された判断基準を高める学習」「人生の諸場面を想定し、選択・行動する力を育成する学習」「まとめ」で構成する。意見交換や討論・発表会を実施する。	2
6月	働くことの意義 夏休みの奉仕・体験 学習事前指導		4
7月	夏休みの奉仕・体験 学習事前指導		5
8月	夏休みの奉仕・体験学習	奉仕活動の意義(ボランティア) ・体験活動について ・わくわくどきどき夏休みこども工作スタジオ ・小中学生向け体験実習(本校)のアシスタント	18
9月	文化の多様化について(オリンピック・パラリンピック)	教科書を使用し、各単元は「導入」「単元の基本的な内容に関する学習」「形成された判断基準を高める学習」「人生の諸場面を想定し、選択・行動する力を育成する学習」「まとめ」で構成する。意見交換や討論・発表会を実施する。 体験活動発表	3
10月	主権者としての自覚について		2
11月	活動報告会		3
12月			
1月			
2月			
3月			
		合計	39

## 令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	松本・田中・西山		
教科の名称	工業(インテリア)		
科目の名称	人間と社会		
使用教科書	人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」		
指導学年・学科	2学年インテリア科		
単位数	1単位		
科目の目標	インテリアに関する社会的な諸問題に目を向け、体験的な活動に参加し、相互に協力することで、専門的な教科と社会との関連や、その分野における社会貢献についての可能性について学習する。		
評価の観点	調べ学習などで、社会における諸問題を取りあげ、解決にむけて協力し、工夫することができたか。体験学習において、自分の役割を認識し、積極的な取り組みが行えたか。発表会を行うために十分な準備が出来たか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目奉仕の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	体験前事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・本業を通じた社会貢献とは</li> <li>・奉仕ボランティアの言葉の隙間を埋めよう</li> <li>・各プログラムの内容紹介</li> </ul>	2
5月			2
6月			4
7月			1
8月	体験学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館でのものづくりインストラクター</li> <li>・おもちゃ美術館のスタッフ体験</li> <li>・森林ボランティア</li> <li>・学校内各種イベントの手伝い</li> </ul>	22
9月	学習の振り返り 発表会の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会のためのプレゼンテーション準備</li> <li>・発表会のためのプレゼンテーション準備</li> <li>・リハーサル</li> <li>・1年生へ向けたプレゼンテーション</li> </ul>	2
10月			3
11月			3
12月			
1月			
2月			
3月			
		合計	39

# 令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	福田・若桑・池田		
教科の名称	人間と社会		
科目の名称	人間と社会		
使用教科書	人間と社会（東京書籍）		
指導学年・学科	2学年・グラフィックアーツ科		
単位数	1単位		
科目の目標	価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、判断基準（価値観）を高めることで、社会的現実に照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。		
評価の観点	①グループワークへの積極的な参加 ②生徒の良い点を互いに認め合い高め合うことができる。 ③生徒の変容の状況		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目人間と社会の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定 時間
4月	ガイダンス	人間と社会 授業の年間スケジュールについて説明する	2
5月	学びと働くことの意義 体験活動の心構え	学びとはなにか、働くとはなにか考えさせる ボランティアの意義と重要性を考えさせる	4
6月	文化の多様性 体験活動の事前指	様々な文化について学び、多様性を理解する 体験活動の計画と準備を整えさせる	4
7月	主権者としての自覚 体験活動	政治参加について考えさせる 主権者として社会とどう関わるか考えさせる 体験活動に安全面を注意させながら参加させる	6
8月	体験活動	体験活動に安全面を注意させながら参加させる	16
9月	科学技術と生命倫理	最先端技術を駆使した生命倫理について考えさせる 考えたことを社会の中でどのように生かすかグループワークさせる	1
10月	国際平和	戦争・紛争がない世界とは 自身が人と対立した経験を考えさせる。	2
11月	体験活動の事後指導	インターネットの長所と短所について考えさせる 体験活動の評価とこれからについて考えさせてまとめる	4
12月			
1月			
2月			
3月			
		合計	39

## 令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	古川・有村・岡田		
教科の名称	人間と社会		
科目の名称	人間と社会		
使用教科書	人間と社会		
指導学年・学科	2学年・デザイン科		
単位数	1単位		
科目の目標	人間としての在り方生き方を学習する		
評価の観点	積極的に参加することができたか、班・クラス・学校・奉仕先とのコミュニケーションを円滑に行な		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	ガイダンス	夏休みの奉仕・体験学習、保険手続き・加入の必要性について説明	2
5月	テキスト学習	グループ協議「主権者としての自覚」について発表	4
6月	テキスト学習	グループ協議「文化の多様性」について発表	4
7月	夏休みの体験学習事前指導	制作 夏休み活動計画書の提出	4
8月	夏休みの体験学習	班別活動(地域環境ボランティア、知的障害者施設での作業体験など)	15
9月	各班・個人の反省会	各自で発表用シート作成・班毎に意見を交換し、まとめる グループ協議「チームで活動することの意義」について発表	4
10月	テキスト学習	グループ協議「人間関係を築く」について発表	4
11月	活動報告会	発表リハーサル・デザイン科内発表会(デザイン科1年生も聴講)・5科共通発表会	2
12月			
1月			
2月			
3月			
		合計	39